

第2回 気象情報の産業利用促進のためのワークショップ 議事概要

日時：平成27年3月2日（月）13：30～16：00

場所：気象庁講堂（東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁2階）

敬称略

1. あいさつ

総務部 鈴木 昭久 総務部長

2. 話題提供

「気温予測情報を用いた水稻刈取適期の予測」

山形県農業総合研究センター 横山 克至 氏

「気温予測活用の取り組み」

株式会社ワコール 池田 奈緒子 氏

「長期予報利活用へのハードル お客様の声にみる“受け止めるべき課題”」

株式会社ハレックス 山本 ゆめ 氏

谷生 美奈 氏

「需要予測の精度向上・共有化による省エネ物流プロジェクト」

一般財団法人日本気象協会 中野 俊夫 氏

3. ディスカッション

話題提供を受け、季節予報は少しの工夫・加工を施すことで、企業活動の意思決定などに十分活用できる情報となりうるということが認識できた一方で、利用者向けの普及・啓発のさらなる促進や民間気象事業者等における人材の育成などの必要性が指摘された。

これらを踏まえ、季節予報の産業利用促進における課題解決の方策について議論を行い、以下のような取組が必要ではないかとの意見が挙げられた。

- ・ 利用者に対する季節予報の精度や活用方法に関する普及・啓発の促進
- ・ 民間気象事業者等を対象とした発表された季節予報に関する解説の場の設置
- ・ 季節予報の活用事例を紹介・共有する場の継続

4. あいさつ

一般財団法人気象業務支援センター 羽鳥 光彦 理事長